



患者への情報提供 Informed Patients

ICN の所信：

国際看護師協会（The International Council of Nurses：ICN）は、すべての人が健康増進、健康維持及び疾病や傷害の予防と治療に関する最新の情報を得る権利を持つと確信する。こうした健康に関する情報は、容易にアクセスでき、時宜を得ており、正確、明瞭、理解しやすく、適切で信頼性が高く、エビデンスまたはベストプラクティスに基づくものでなければならない。さらに、すべての人々が、健康増進及び疾病や傷害の予防と治療における科学的研究、医療製品及び技術革新に関して、正確で、信頼でき、透明性が高い情報へのアクセスを享受すべきである。プライバシー及び守秘義務に対する患者の法的及び道徳的権利にしかるべき敬意をはらった上での適切な健康情報の共有は、看護師及び他の保健医療提供者が患者や家族、介護者との間に誠実で協力的な関係を築くための必要条件である。

人々は、自己の健康に関して、情報を得たうえで選択及び決定を行うことができるよう、適切な形式及び水準の情報にアクセスする権利を有している。患者及び介護者への情報は、彼らの語学力及び健康リテラシーレベルに対応するだけでなく、霊的、宗教的、民族的及び文化的なニーズといったニーズや状況に対応するものでなければならない。保健医療介入に付随するリスクと利益、及び選択肢について患者に説明し、また、必要に応じて家族や介護者にも説明すべきである。看護師及び他の保健医療提供者は、患者団体、自助グループ、その他の関係者と連携を図り、患者及び一般市民に対して健康と保健医療サービスに関する正確で時宜を得た情報へのアクセスを保証する必要がある。その際に看護師、患者及び一般市民は、患者に提供される情報の特性と質及び健康アウトカムや看護ケアに及ぼす影響に関する研究に関与することが期待される。

背景

自己の健康に積極的な役割を担おうとする人々は、自己治療に関して望ましい情報のもとで決定を行い、より健康的なライフスタイルを持ち、ケアとそのアウトカムにより満足する傾向にある。看護師は、自己の健康管理方法に関し、情報に基づいた決定と選択をする人々の権利、及び保健医療や治療処置を受諾または拒否する人々の権利を認識すべきである。ここでは、「健康リテラシー」とは、健康情報を理解し、自分のものとして取り入れ、日常生活において効果的に活用する能力を指す。看護師は、情報を管理する知識とスキルを持ち、情報の質を評価し、患者が情報にアクセス・管理・活用することを支援し、情報提供を受けた患者の健康アウトカムへの影響に関するエビデンスの蓄積に向けた貢献及び評価をする必要がある。看護師は、専門的知識や既存の考え方だけに頼るのではなく、患者自身が提示する情報ニーズ及び患者のニーズアセスメントに応えるべきである。患者及び介護者が情報を入手できるよう、多様な情報技術やコミュニケーション技術を活用すべきであり、情報は、認可または承認された品質規格に即して提示すべきである。看護師や他の保健医療提供者の基礎教育及び継続的教育、研修は、患者と一般市民に十分な情報提供

を行い、彼らと協力してその健康ニーズをより良く満たすために必要なコンピテンシーを獲得できるようにすべきである。

2003 年採択

2008 年・2015 年見直し・改訂

関連 ICN 所信声明：

- 患者安全
- 健康情報：患者の権利保護

関連 ICN 出版物：

- Patient Talk! The ICN Informed Patient Project (2003)

2015 年 (公・社) 日本看護協会改訳

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">* 文書中の「看護師」とは、原文では nurse(s)であり、訳文では表記の煩雑さを避けるために「看護師」という訳語を当てるが、免許を有する看護職すべてを含むものとする。* ICN 所信声明の著作権は、国際看護師協会(ICN)にあり、ICN の許可のもとに、(公・社) 日本看護協会が日本語訳を作成しました。許可の無い商業目的での使用を禁止します。 |
|---|